

2026年 1 月18日実施

令和 7 年度 (第 74 回)
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング〉
第 2 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 磁性体を塗布した円盤を高速で回転させて、データの読み書きを行う装置。
2. CPUが命令を直接解釈して実行できる言語。
3. 複数のファイルを一つにまとめたり、元に戻したりすることができるソフトウェア。
4. ディスプレイやプリンタ、スキャナなどにおいて画像のきめ細かさを示す尺度。dpiやppiで表される。
5. 日本国内の工業製品や技術について、品質・性能・寸法・測定方法などを標準化し、生産の効率化などを目的として制定された国家規格。

解答群

ア. 機械語	イ. シリンダ	ウ. 簡易言語
エ. SSID	オ. アーカイバ	カ. 磁気ディスク装置
キ. 解像度	ク. プラグアンドプレイ	ケ. JIS
コ. ANSI		

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. コンパイラ 2. 復号 3. クライアントサーバシステム
4. 読み取り 5. チェックディジットチェック

< B 群 >

- ア. ソースコードを1行または1命令ずつ解釈し、そのつど実行するソフトウェア。
- イ. 数値以外のデータが含まれていないかを確認する検査。
- ウ. 第三者が内容を容易に理解・判読できないように、データを一定の規則にしたがって変換すること。
- エ. ファイルやディレクトリに設定されるアクセス権の一つで、内容の参照のみが許可され、変更や削除は許可されていない権限。
- オ. ソースコード全体を解釈できる形式に、一括で翻訳するソフトウェア。
- カ. コンピュータ同士が互いに対等な関係でデータ通信を行うネットワーク形態。
- キ. コードの末尾に付加される数字や文字列により、入力や伝送の際に誤りがないかを確認する検査。
- ク. サービスを提供するコンピュータと、そのサービスを利用するコンピュータで構成されるネットワーク形態。
- ケ. ファイルやディレクトリに設定されるアクセス権の一つで、内容の変更や追記などが許可される権限。
- コ. 第三者が判読できないように一定の規則に従って変換されたデータを、元のデータに戻すこと。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 29 と2進数の 1011 との差を表す10進数。

ア. 15

イ. 18

ウ. 20

2. 新しい技術やデザインなどを特許庁に出願し、審査後に登録されることで、その技術やデザインなどを一定期間独占的に使用できる権利の総称。

ア. OSS

イ. 著作権

ウ. 産業財産権

3. 開発者の意図した正しい処理結果を導き出すために、プログラムやシステムの欠陥を発見し修正する作業。

ア. アセンブラ

イ. デバッグ

ウ. テストラン

4. 停電などによる電力障害が発生した際、コンピュータや周辺機器に一定時間電力を供給する装置。

ア. MIDI

イ. CMYK

ウ. UPS

5. 透明度が指定できる可逆圧縮の画像ファイル形式であり、写真やイラストなどのフルカラー画像を保存できる。

ア. PNG

イ. ZIP

ウ. GIF

【4】 プログラムにしたがって処理するとき、(1)～(5)を答えなさい。なお、入力する a の値は正の整数とする。

- (1) a の値が 4 のとき、㊦の処理を2回目に実行したあとの b の値を答えなさい。
- (2) a の値が 4 のとき、㊦で出力される h の値を答えなさい。
- (3) a の値が 32 のとき、㊦の処理を最後に実行したあとの b の値を答えなさい。
- (4) a の値が 32 のとき、㊦で出力される h の値を答えなさい。
- (5) プログラムの処理について説明した文のうち、正しいものはどれか。ア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。
 - ア. 処理を終了したとき、 h の値は a の値と等しい。
 - イ. 処理を終了したとき、 h の値は a の値より小さい。
 - ウ. 処理を終了したとき、 h の値は a の値以下である。

<プログラム>

```
Sub Program1()
    Dim a As Long
    Dim b As Long
    Dim c As Long
    Dim e As Long
    Dim f As Long
    Dim g As Long
    Dim h As Long
    a = Val(InputBox("aの値を入力してください"))
    b = a
    c = 1
    Do While b >= c
        [b = b - c] ㊦
        c = c + 2
    Loop
    e = a
    f = 2
    Do While e >= f
        e = e - f
        f = f + 2
    Loop
    g = b - e
    h = g * g
    [MsgBox (h)] ㊦
End Sub
```

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

＜流れ図の説明＞

処理内容

ある期間のキッチンカーの売上データを読み、販売状況一覧をディスプレイに表示する。

入力データ

月日 (Tukihi) ××××	天気番号 (Tenban) ×	営業時間 (Eiji) ×	売上数 (Urisu) ×××
××××	×	×	×××

(第1図)

実行結果

(販売状況一覧)				
(月日)	(天気番号)	(営業時間)	(売上数)	(1時間平均)
1101	1	5	255	51
1102	1	7	395	56
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
1227	2	6	284	47
1228	3	5	172	34
(売上数計)			6,006	
(晴れの売上数計)			3,544	
(営業日数)		20	(売上数の平均)	300
(晴れの営業日数)		11	(晴れの売上数の平均)	322

(第2図)

処理条件

1. 第1図の入力データを読み、1時間平均を次の計算式で求め、第2図のように表示する。なお、天気番号は、1 (晴れ)、2 (曇り)、3 (雨)である。

1時間平均 = 売上数 ÷ 営業時間

2. 入力データが終了したら、売上数計、晴れの売上数計、営業日数、売上数の平均、晴れの営業日数、晴れの売上数の平均を第2図のように表示する。なお、売上数の平均と晴れの売上数の平均は次の計算式で求める。

売上数の平均 = 売上数計 ÷ 営業日数

晴れの売上数の平均 =

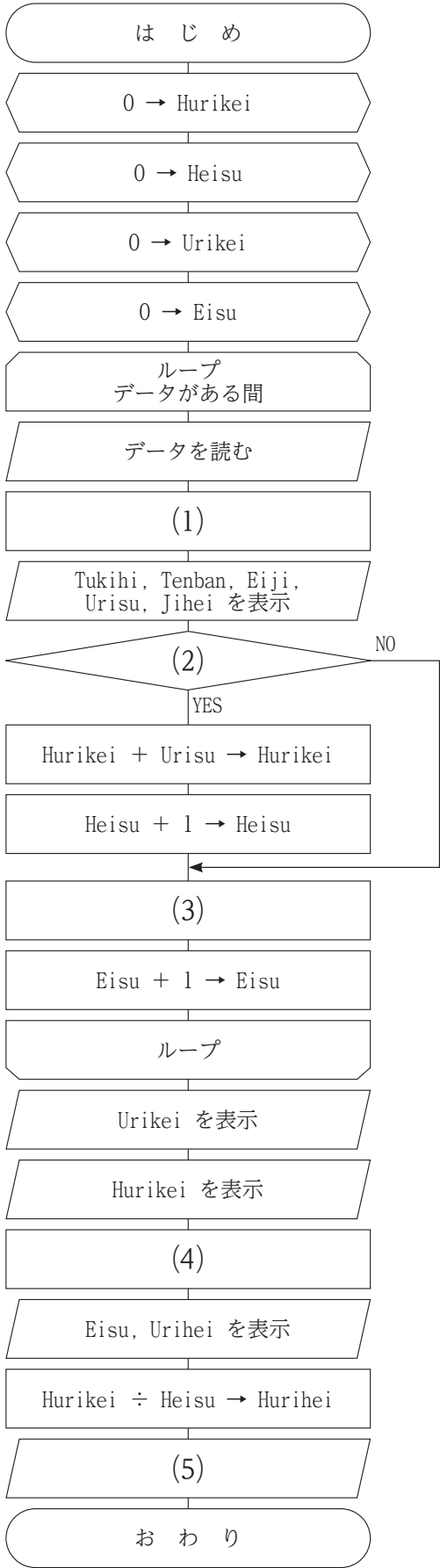
晴れの売上数計 ÷ 晴れの営業日数

3. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Eiji ÷ Urisu → Jihei
イ. Tenban = 1
ウ. Urikei ÷ Heisu → Urihei
エ. Heisu, Hurihei を表示
オ. Tenban = 2
カ. Urikei ÷ Eisu → Urihei
キ. Urisu ÷ Eiji → Jihei
ク. Hurihei を表示
ケ. Urikei + Urisu → Urikei
コ. Urikei + Hurikei → Urikei

＜流れ図＞



【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

留学幹旋会社のある期間の海外短期留学データを読み、プラン分析表と店舗分析表をディスプレイに表示する。

入力データ

受付日 (Ubi)	受付番号 (Uban)	プラン番号 (Pban)	店舗番号 (Tban)	大学生数 (Dgsu)	高校生数 (Kksu)
×～×	×～×	×	×	××	××

(第1図)

実行結果

(プラン分析表)				
(プラン名)	(大学生数計)	(高校生数計)	(計)	(備考)
米国西海岸4週間	236	91	327	*
}	}	}	}	}
南フランス3週間	209	62	271	
(合計)	1,369	476		
(店舗分析表)				
(店舗名)	(件数)	(判定)		
銀座店	115	○		
新宿店	127	◎		
}	}	}		
ウェブ	107			
(ウェブの割合(%))	22			

(第2図)

処理条件

1. 第1図のプラン番号は 1 (米国西海岸4週間) ～6 (南フランス3週間) の6種類、店舗番号は 1 (銀座店) ～5 (ウェブ) の5種類である。なお、すべてのプランとすべての店舗の申し込みがあるものとする。
2. 配列 Pm にプラン名を、配列 Tm に店舗名を記憶する。なお、Pm の添字はプラン番号と、Tm の添字は店舗番号と対応している。

配列

Pm	(0)	(1)	～	(6)
		米国西海岸4週間	～	南フランス3週間
Tm	(0)	(1)	～	(5)
		銀座店	～	ウェブ

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
- プランごとに配列 Dsu に大学生数を、配列 Ksu に高校生数を集計する。なお、Dsu(0) と Ksu(0) には合計を求める。また、Dsu と Ksu の添字はプラン番号と対応している。

配列

Dsu	(0)	(1)	～	(6)
			～	
Ksu	(0)	(1)	～	(6)
			～	
(合計)				

- 店舗ごとに配列 Mken に申し込みの件数を求める。なお、Mken(0) には合計を求める。また、Mken の添字は店舗番号と対応している。

配列

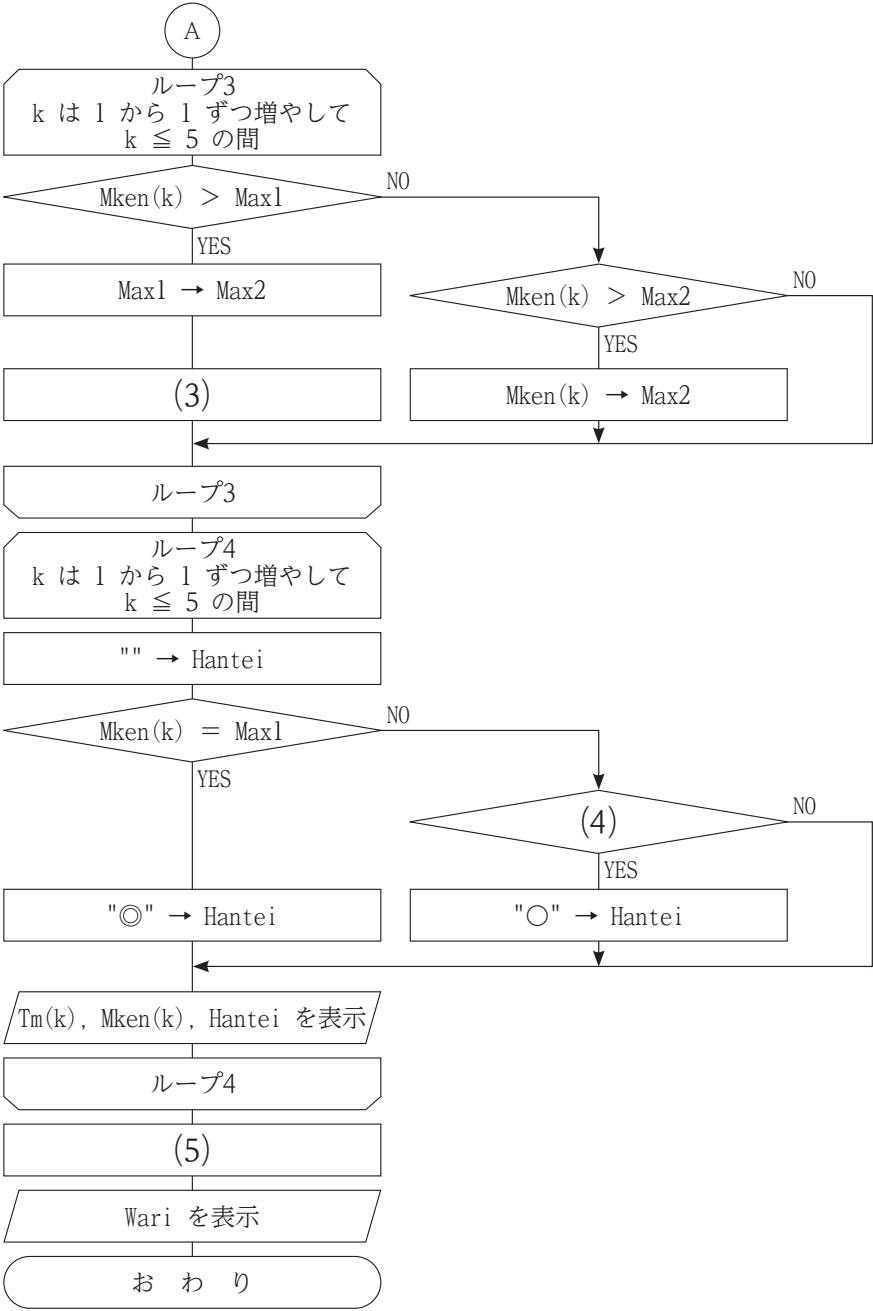
Mken	(0)	(1)	～	(5)
			～	
(合計)				

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。
- プランごとに、大学生数計と高校生数計の計を次の計算式で求める。
計 = 大学生数計 + 高校生数計
 - 高校生の比率を次の計算式で求め、プラン名から備考までを第2図のように表示する。なお、備考は高校生の比率が 25 以上の場合は * を表示する。
高校生の比率 = 高校生数計 × 100 ÷ 計
 - 大学生数計の合計と高校生数計の合計を表示する。
 - 件数の最大値と2番目に大きい値を求める。なお、件数に同じ値はないものとする。
 - 店舗名から判定までを表示する。なお、判定は件数が最大値の場合は ◎ を、2番目に大きい値の場合は ○ を表示する。
 - ウェブの割合(%)を次の計算式で求め、表示する。
ウェブの割合(%) = ウェブの件数 × 100 ÷ 件数の合計
5. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. j は 1 から 1 ずつ増やして $j \leq 6$
- イ. $Mken(0) \times 100 \div Mken(5) \rightarrow Wari$
- ウ. $Mken(j) \rightarrow Max1$
- エ. $Mken(j) = Max1$
- オ. $Mken(5) \times 100 \div Mken(0) \rightarrow Wari$
- カ. $Dsu(0) + 1 \rightarrow Dsu(0)$
- キ. j は 1 から 1 ずつ増やして $j \leq 5$
- ク. $Mken(k) \rightarrow Max1$
- ケ. $Mken(k) = Max2$
- コ. $Dsu(0) + Dgsu \rightarrow Dsu(0)$

<流れ図>



【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるメロン生産者の1年間の出荷データを読み、サイズ別出荷一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

出荷日 (Sbi)	分類コード (Bcod)	糖度(%) (Tdo)	出荷金額 (Sgaku)
××××	××	××	×～×

(第1図)

実行結果

(サイズ別出荷一覧表)				
(サイズ名)	(出荷数計)	(出荷金額計)		
S	1,430	835,800		
}	}	{		
5L	321	1,208,600		
(合計)	20,742	28,648,100		
(分析したい品種番号(1~9)を入力)2				
(品種名)アンデス				
(サイズ名)	(プレミアム)	(Aランク)	(Bランク)	(出荷数合計)
S	14	105	108	227
}	}	}	}	}
5L	10	28	25	63
(ランクがプレミアムでサイズが2L以上の出荷数合計)				
(分析したい品種番号(1~9)を入力)0				

(第2図)

処理条件

1. 第1図の分類コードは次の例のように構成され、品種番号は 1 (アールス) ～9 (エルソル), サイズ番号は 1 (S) ～8 (5L) である。なお、品種によって取り扱うサイズが異なる。

例 32 → 3 2
 分類コード 品種番号 サイズ番号

2. 配列 Hmei に品種名を、配列 Smei にサイズ名を、配列 Bco に分類コードを記憶する。なお、Hmei の添字は品種番号と、Smei の添字はサイズ番号と対応している。

配列

Hmei	(0)	(1)	(2)	～		(8)	(9)															
		アールス	アンデス	～		レノン	エルソル															
Smei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)													
		S	M	L	LA	2L	3L	4L	5L													
Bco	(0)	(1)	～		(8)	～		(52)	～		(58)	(59)	～		(65)							
		11		～		18		～		81		～		87		92		～		98		
	S		～		5L		S		～		4L		M		～		5L					
	アールス								レノン								エルソル					

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

- 配列 Ssu にサイズ番号ごとの出荷数を求め、配列 Skin にサイズ番号ごとの出荷金額を集計する。なお、Ssu(0) と Skin(0) には合計を求める。また、Ssu と Skin の添字はサイズ番号と対応している。

配列

Ssu	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
Skin	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
(合計)									

- 分類コードをもとに配列 Bco を探索し、糖度(%)が 18 以上の場合はプレミアムとして配列 Psu に、糖度(%)が 16 以上 18 未満の場合はAランクとして配列 Asu に、糖度(%)が 16 未満の場合はBランクとして配列 Bsu に出荷数を求める。なお、Psu, Asu, Bsu の添字は、Bco の添字と対応している。

配列

Psu	(0)	(1)	～	(8)	～	(52)	～	(58)	(59)	～	(65)				
			～		～		～			～					
Asu	(0)	(1)	～	(8)	～	(52)	～	(58)	(59)	～	(65)				
			～		～		～			～					
Bsu	(0)	(1)	～	(8)	～	(52)	～	(58)	(59)	～	(65)				
			～		～		～			～					
	S			～ 5L		S			～ 4L		M		～ 5L		
	アールス					レノン					エルソル				

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

- サイズ名から出荷金額計までを第2図のように表示する。
- 出荷数計の合計と出荷金額計の合計を表示する。
- 分析したい品種番号を Hban に入力し、品種名を表示する。なお、品種番号に 0 が入力されたら処理を終了する。
- 入力した品種番号の番台区分を次の計算式で求め、その番台区分をもとに配列 Bco を探索し、入力した品種番号の始まるの値を求める。

入力した品種番号の番台区分 = 品種番号 × 10

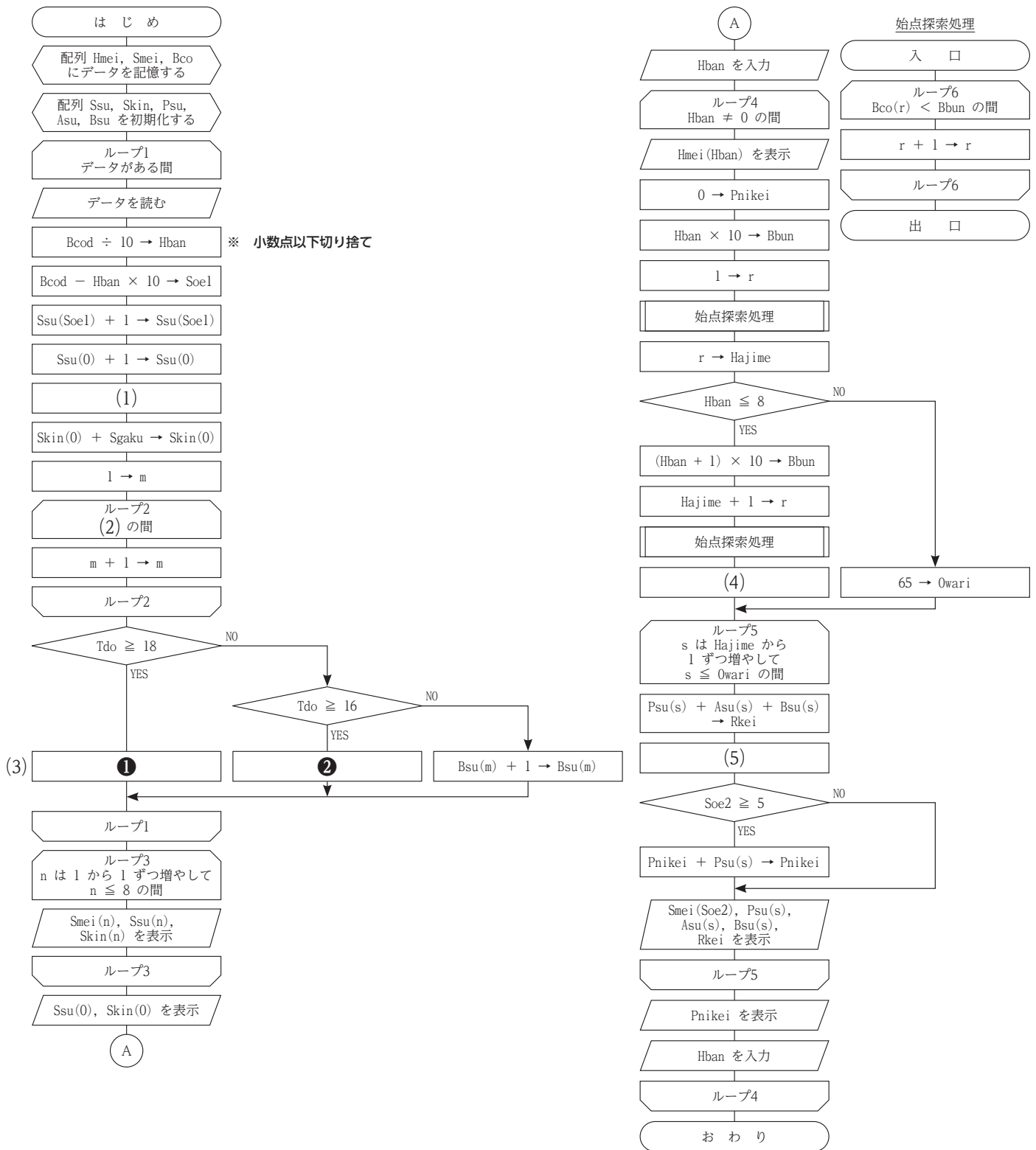
- 品種番号が 8 以下の場合は、入力した品種番号の次の品種番号の番台区分を次の計算式で求め、その番台区分をもとに配列 Bco を探索し、入力した品種番号の次の品種番号の始まるの値を求める。さらに、入力した品種番号の終わりの値を、次の品種番号の始まるの値から 1 を差し引いて求める。なお、それ以外の場合は 65 とする。

入力した品種番号の次の品種番号の番台区分 = (品種番号 + 1) × 10

- サイズ名ごとに、プレミアムからBランクまでの出荷数合計を求める。
- ランクがプレミアムでサイズが2L以上の出荷数合計を求める。
- サイズ名から出荷数合計までを表示する。
- ランクがプレミアムでサイズが2L以上の出荷数合計を表示する。

5. データにエラーはないものとする。

<流れ図>



解答群

- ア. $Bco(s) - Hban \times 10 \rightarrow Soe2$
 ウ. $Asu(m) + Tdo \rightarrow Asu(m)$
 オ. $Hban - 1 \rightarrow Owari$
 キ. $Skin(Soe1) + Tdo \rightarrow Skin(Soe1)$
 ケ. $Bco(m) = Bcod$
 サ. $Skin(Soe1) + Sgaku \rightarrow Skin(Soe1)$
 ス. $Bbun - 1 \rightarrow Owari$
 ソ. $Bco(s) - Rkei \times 10 \rightarrow Soe2$

- イ. $Skin(Soe1) + 1 \rightarrow Skin(Soe1)$
 エ. $Bco(m) \neq Bcod$
 カ. $Bco(s) - Owari \times 10 \rightarrow Soe2$
 ク. $Asu(m) + 1 \rightarrow Asu(m)$
 コ. $Psu(m) + Tdo \rightarrow Psu(m)$
 シ. $r - 1 \rightarrow Owari$
 セ. $Psu(m) + 1 \rightarrow Psu(m)$

(令和8年1月18日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和7年度（第74回）情報処理検定試験プログラミング 第2級
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

小計	
----	--

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】

(1)	(2)	(3)		(4)	(5)
		①	②		

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和8年1月18日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和7年度(第74回)情報処理検定試験プログラミング 第2級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	ア	オ	キ	ケ

【2】	1	2	3	4	5
	オ	コ	ク	エ	キ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ウ	イ	ウ	ア

各2点
15問

小計

30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	0	4	7	25	ウ

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	キ	イ	ケ	カ	エ

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	コ	ア	ク	ケ	オ

各3点
15問

小計

45

【7】	(1)	(2)	(3)		(4)	(5)
			①	②		
	サ	エ	セ	ク	シ	ア

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各5点
5問

小計

25

得点合計

100